

東京スター銀行 ブロックチェーン関連技術を活用した「内外為替一元化 コンソーシアム」への参加を決定

～ 革新的な技術による柔軟で効率的な決済システムの実現に向けて ～

株式会社東京スター銀行（東京都港区、代表執行役頭取 CEO 入江優）は、このたび、SBI ホールディングス株式会社（東京都港区、代表取締役執行役員社長 北尾吉孝）および SBI Ripple Asia 株式会社（東京都港区、代表取締役 沖田貴史）が事務局を務める「内外為替一元化コンソーシアム」に参加することで、合意いたしました。

ブロックチェーン技術は、FinTech における革新的な中核技術であり、金融機関システムの安定性を向上させつつ、より柔軟で効率的なシステム構築を実現する可能性があります。

当行では、お客さまへのさらなるサービス向上のため、さまざまな取り組みを加速しておりますが、近年のICT（情報通信技術）の革新的変化と顧客行動や社会生活の変化に伴う決済の 24 時間化・リアルタイム化や小額決済等の振り込みニーズの多様化とともに、越境 e コマースや日本企業のアジア進出によるボーダーレス化に対応するため、決済分野における新たな取り組みとして、本コンソーシアムに参加し、ブロックチェーン関連技術を活用した新たな送金・決済サービスの検討を開始いたします。

当行では、本コンソーシアムへの参加メンバー銀行と共同で、活用方法、内外為替にあたって必要となる業務に関して、技術・運用の両面での議論を重ねてまいります。

<ご参考:本コンソーシアムの概念図>

